
君に焦がれて

癒得

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君に焦がれて

【Nコード】

N4317Z

【作者名】

癒得

【あらすじ】

好きな人に出会った。不思議な魅力を持った女の子。

これから思い出を作っていきたい。好きだから。

出会い

桜の季節。入学式にはいつも桜が舞って新しい生活を彩る。ほとんどの人がそうだろう。でもそうじゃない人もやはりいる。根暗で陰湿な私みたいなヤツら。桜の彩りでさえ心の暗さは塗りつぶせない。なぜこんなにウキウキとした空気を出せるのだろう。私はそんな事を思いながら騒いでいる女子高生の集団を通り抜ける。もう友達達だよねとかそんな言葉も聞こえて来るのだけどそんなのありえない。出会ってまだたかだか数時間なんの苦楽も一緒に乗り越えていないのに。そんな友達作りの天才たちの顔を少しだけ拝むと今までより早足でその場を去る。ちよつとムツとした。

誰がどのクラスに割り当てられるのかその発表がどこかに貼り出されている筈だ。さつきからそれを探しているのだけど見当たらない。いたるところに人集りができているせいでクラスの発表を見ている集団と見分けがつかない。すぐ分かると思ったのに。

「……疲れた」

沢山の人の中にいるのは苦手だ。ツライ。どこか人のいないところはないだろうか。人がバラけるまで休めれば。

「……校舎裏」

入学式なんて晴れ舞台に陰気な裏側なんかにはいないと思う。いても同類。同じように人ゴミに疲れた人だけだ。

案の定誰もいなかった。ただ桜のせいかな陰湿な感じはしない。校舎の壁にもたれかかったため息をつく。思えば入学式まで心休まる時がなかった。地元から離れた私立に入ったせいで受験も大変だった。今や念願の一人暮らしだが。楽だったのはさみしいと言つて色々くつついて来るヤツがいなかった事だ。そもそも友達がいらないだからそんな事もあるわけないが。たまに今まで話した事もないヤツが友達面してそういう類の事をしてくるらしい。本当によかつ

た。

しばらく何も考えずたたずんでいると同じく人の中から逃げて来ただろうという者が現れた。やはりいるんだなそう思いながら顔を拝んでやるうと視線を向けた。

そこにいたのは何とも言えない魅力を持つ女の子だった。見た事がない魅力。いや私は知っている魅力。何かははっきりわからないでも目が離せない。心臓が高鳴る。私はあの子が好きだ。同性だが私はいつもそう。同性愛者。ただいつもと少し違ういつもはこんなに不思議な感じはしない。こんな不思議な……同じだという感覚。伝えたいそう思った瞬間にはもう遅かった。

「あなたの事が好きです」

考えるより早くからだは動く。今まで信じられなかったけど本当にあるんだとかさつき見た友達作りの天才達の仲間入りだなとかそんな事を思った。

出会い（後書き）

久しぶりに連載始めますので！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4317z/>

君に焦がれて

2011年12月14日22時45分発行